

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト
事業主体 (連絡先)	安曇野市 0263-71-2000 (代表)
事業区分	①地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,406,240 円 (うち支援金: 2,944,000 円)



事業内容

1. プロジェクトによる植樹の検討

「補植や水対策、鳥獣害対策(桜分科会)」、「周辺の動植物のあり方(動・植物分科会)」、「山城である光城山の歴史文化の研究・伝承(歴史・文化分科会)」、「観光振興(事業推進・観光分科会)」の4本柱で、6回のプロジェクトを開催した。

2. 市民参加による桜の植樹

市制施行10周年記念事業として、公募した市民約440名と共に、光城山に桜(神代曙)の苗木、300本を植樹した。

3. 自然体験会の実施

地元区を対象として、次代を担う小学生とその保護者を対象に、光城山の自然の豊かさを体感してもらうために、自然体験会(ネイチャーゲーム)を実施した。



【桜の植樹の様子】

【目標・ねらい】

- ①プロジェクトにより協働の基盤を強化する。
- ②桜の植樹や自然体験会により、光城山への関心を高め、郷土愛を育む。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 有識者とプロジェクトとの関わりを深め、関係者の知識を向上することができた。また、各事業の推進に市民と行政が協働により取り組むことで、協働の基盤を強化することができた。
2. 植樹には、保育園から高齢者まで幅広い市民に参加していただくことができ、また、参加したお子さんが書いた「10年後の私へ」と題した手紙をタイムカプセルに入れて設置した。さらに、自然体験会も実施し、これらにより、光城山への関心を高め、郷土愛を育むことができた。

※自己評価【 A 】

【理由】
本事業の推進には多くの市民の自主的な参加、取り組みが不可欠であり、プロジェクトを通して協働の基盤づくりができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

昨年度より、地元の皆さんの主体的な協力により、協働の基盤づくり、またその強化に努めてきた。今後は、植樹した桜の生育管理が課題となるため、その体制を構築していく。また、桜に関するネットワークづくりにより、桜を通じた協働の取り組みを各地へ広げていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある